

第2回協議会でいただいたご意見について

2024.1.31

第3回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

第2回協議会でいただいたご意見について

1. 児童生徒の情報活用能力育成に関すること

(1) 1人1台端末の活用推進

No	要旨	進捗・対応状況
1	平均やグラフの上がった下がったではなく、標準偏差や中央値はどうなっているかなど、統計的な考察を進めていくこと。	文部科学省の調査には対応しつつ、より実態を示せる調査内容や教員単位でのデータ分析を進めるとともに、標準偏差や中央値などの統計指標の把握に努めます。
2	「学習が家でも継続して行える環境があれば、持ち帰りが不要であるという子どもの割合」などを調べても良いのではないか。	「家庭での学習」に係る調査方法・把握方法の見直しを行います。学校以外の場所での学習のあり方についても検討してまいります。
3	クラウドサービスの利用状況等により、機械的に活用の変化を把握ができないか検討すること。	これまでの教員アンケートに加え、Classroom等のアクティブ数やアプリケーションの活用率、クラウド上のファイル数を中心に、活用状況の変化の把握を検討しております。
4	中学校教員の活用率について、端末の活用状況が「1日1～2回」の状況をグラフ化してみることに。	端末の活用が「1日1～2回」の教員の状況も調査し、グラフ化しました。

第2回協議会でいただいたご意見について

(2) 情報モラル、情報セキュリティ教育の推進

No	要旨	進捗・対応状況
1	ICT教育を阻害しない形で、情報セキュリティに関する運用ルールの「最適化」を進めてほしい。	情報管理に関するルールは適時見直すとともに、デジタル化社会における情報モラル教育のあり方について、次年度の教育センターにおける研究テーマの一つとする予定です。
2	みやぎ情報活用ノートのデジタル化も進めていたところだと思うので、家庭の情報モラル推進部会の取り組みと併せて周知できると良い。	「みやぎ情報活用ノート」のデジタル化を順次進めており、周知を図ってまいります。また、「家庭の情報モラル」は今後の重要事項であり、個別テーマのピックアップ、素材(個別テーマの授業案等)づくりも検討してまいります。

第2回協議会でいただいたご意見について

(3)プログラミング教育・STEAM教育の推進

No	要旨	進捗・対応状況
1	プログラミング的思考とともにプログラミング技能を測ることも重要である。	「プログラミング的思考」と「プログラミング技能」の違いも意識して、令和6年度に向け情報収集してまいります。
2	プログラミング大会等の課外活動で活躍している子供も多く、教育委員化として応援したり、評価する独自の取り組みがあるとよい。	プログラミング等に係る課外活動の周知、表彰等について、運営団体等と情報交換してまいります。
3	端末活用もプログラミング教育も、小学校から中学校、さらに高校で停滞することがないような取り組みが必要である。	小中学校通じた体系的なプログラミング教育の確立に向けて、先進事例を参考に令和6年度より小学校1校、中学校1校での実証に取り組めます。
4	STEAMIは、教科等横断で進めていくというカリキュラムの話と、課題解決などの非認知能力の育成が重要である。教員の理解や育成する能力など総合的に考えていかなければならない。	探究的な学習を推進するうえで、教科等横断的であることを意識するような教員研修や授業づくりを検討していきます。

第2回協議会でいただいたご意見について

(3)プログラミング教育・STEAM教育の推進

No	要旨	進捗・対応状況
5	環境等整備においては、パナソニック財団など民間支援も活用すること。	民間支援の情報を収集し、活用を図っていきます。令和5年度は、パナソニック教育財団の支援について、教育局内及び市立学校に情報提供しました。
6	リーディングDXスクール、STEAMは授業観、授業スタイルという本質の話につながる。モデル校の状況に限らず、各校からも取り組みを紹介し、共有できる機会を持ってほしい。	各校における優れた取り組みについては、仙台市GIGAスクールサポートサイトで紹介するなど情報発信及び共有に努めます。

第2回協議会でいただいたご意見について

(4) 高校における取組の推進

No	要旨	進捗・対応状況
1	県立高校における事例なども参考に、市立高校の情報化を推進すること。	
2	高校向けのデジタル教材があれば活用も増える可能性がある。	
3	自宅に帰ってからの利用するための時間設定は配慮があっても良い。	
4	各高校の教育の特色があるので、学校ごとに目標設定を検討すること。	

県立高校の状況を把握するとともに、各高校の特色を踏まえた指標等設定や環境整備を行うことで、高校のICT教育を推進します。

第2回協議会でいただいたご意見について

2. 教員のICT活用指導力向上に関すること

(1) 教員のICT活用指導力向上

No	要旨	進捗・対応状況
1	小学生から統計に関する知識を学ぶようになっており、大人も統計に関する知識を学ぶ必要がある。	統計的な知識も含め、教員の情報活用能力を向上させる研修を企画・実施していきます。

第2回協議会でいただいたご意見について

3. 学校情報化の推進に関すること

(1) 校務DXの推進

No	要旨	進捗・対応状況
1	校務DXの他校展開・標準化、文科省校務DXへの対応ロードマップが必要である。	既存の「働き方改革取組方針」などの取り組みや教育センターにおける研究成果を踏まえながら、本市における学校教育情報化の現状や将来的なロードマップを整理していきます。
2	教育の情報化が進んでいる学校は、前段として校務でも当たり前に使っている学校が多いのではないか。	校務情報化の指標を検討するとともに、そのフィードバックや推進方法について検討してまいります。
3	意図的に親子で活用してみる機会をつくると理解はすすむのではないかと。	保護者連絡等においても端末の活用を推奨するよう、局内共通の取組として推進していきます。
4	保護者アンケート等において、教育委員会から持ち帰りによる端末活用を指示すると学校でも対応しやすい。	